

JAMCA

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.36

2003年1月1日

発行
協会事務局
編集事務局

全国自動車整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>



資格の重要性は、いまさら申し上げるまでもない。資格がいかに重要な権限や勇気を与えてくれるかは計り知れない。本学園でも全員が、より多くの資格を取得できるよう力を注いでいる。しかし、いかに優れた学生を社会に輩出させ、より質の高い学生を育成していくかを思考する時、資格重視を先行させると、資格はあっても企業で役に立たない人材を育成してしまうケースが生じる。

最近思うことは、いかに興味を持たせ、楽しい授業を、どのようにしたら達成できるかということである。資格だけを先行させるのではなく、社会に出てから役に立つ人材を、いかに育成するかという戦力重視の考え方方が、本来必要ではないだろうか。

理解できるよう工夫を

本稿でも紹介されているが、教材の活用や必要なカットモデル等の作成が、いかに大切であるかを痛感している。よい果実を実らせるには、幾多の手間がかかる。肥料を与え土壌を作る、無駄な枝を払い、虫がつかぬよう消毒し、適量に間引きすることなどで、品質のよい果実ができる。私も趣味でバラを栽培しているが、美しい花を咲かせようとすると、大変な手間と時間がかかる。教育も花作りも同じだと考える。

受ける側は、与える側の力量によって変わる。いかに受けやすい環境を提供するかが、与える側の能力である。学生が居眠りしているのをしかるより、教える側に問題がないか

資格重視より戦力重視

土岐自動車工学専門学校 理事長
北日本自動車工学専門学校
全国自動車整備専門学校協会副理事長



を問いただしたい。眠らせない授業、楽しい授業をいかにしたらできるのかを考えるべきではないだろうか。

専門学校はとくに時間に追われ、ゆとりがないように思われる。学科と実習を合わせ1800時間は、多いようだが、各教科に配分すると多くはない。もう少し時間がほしいと思っても、進めていくしか手がない。

そんな中で、いかに効率のよい授業を開拓していくかが、その教科を担当する教師に問われるのである。時間がないと棚上げしないで、物を見せる、物に触れさせるなど、理解させる工夫をすることで、いくらでも効率を上げることができるはずである。

教育とは教えることではない。相手に理解させることである。受け身の立場で考えれば、当然教えられたことが理解できるか否かが問題である。難しい話を延々としても、相手が理解してくれなければ教育とはいえない。

連合艦隊の山本五十六司令長官の名言に「やってみせ、言ってきかせ

齋木 寛治

て、させてみせ、ほめてやらねば人は動かず」という言葉がある。教員がこの言葉を、いかに実践するかということである。難しい内容でも相手に分かりやすく教える方法を、自ら成就していくこそ、プロの教育者ではないだろうか。

社会の戦力になる資格者に

昨今、まさに一級自動車整備士が専門学校の重要な資格に加わりつつある中で、資格というものの持つ意義を、正しく認識すべき時ではないだろうか。資格は身分上必要な条件といえるが、資格を持つことは、そこに権利が生まれる反面、責任という重要な任務が付加されることを忘れてはならない。

資格を取れば後はどうでもよいというのではなくならない。取得してからが大切である。今は資格の世の中である。何をするにも資格が必要であるが、社会においてその資格を生かし戦力となる資格者になってほしいと思います。

末筆ながら年頭に当たり、JAMCA会員各校のますますのご発展を祈念申し上げます。

■ CONTENTS ■

2面	OPINION
3面	我が校自慢
4・5面	ISO14001認証取得 3校の実践
6面	協会トピックス
7面	活躍卒業生・地区通信
8面	私の教材活用・編集後記